



学校だより

よこはましりつ しょうがっこう
横浜市立いちよう小学校
平成25年 12月号
2013年 12月2日

人と人との関わりで育つ力

街にはクリスマスソングが流れ、年末に向けて様々な取組が行われているようです。子どもたちにとっても、年末・年始はあいさつの機会が増えたり、プレゼントやお年玉をいただいたりすることができ、社会性を養ったり、コミュニケーション力を高めたりするよいチャンスでもあります。場に応じた行動がとれるようにしたいですね。

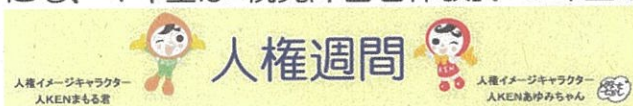


以前、講演会で、「人は人との豊かな関わりで育つ」というお話を伺いました。我が子をより良く育てたい。立派な人に育てたい。と願う気持ちは万国共通です。そのためには、ある特定の価値観だけで教育せず、いろいろな考えを聞き、いろいろな経験を積み、たくさんの情報の中から、正しいことが判断できる人に育つことが大切だと思います。

第65回 人権週間

日本では、法務省と全国人権擁護委員連合会が、人権宣言が採択されたことを記念して、1949年(昭和24年)から毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日～10日まで)を、「人権週間」と定め、その期間中、多くの団体の協力で、世界人権宣言の趣旨及びその重要性を訴えています。また、人権尊重思想の普及高揚を図るため、全国各地においてシンポジウム、講演会、座談会、映画会等を開催するほか、テレビ・ラジオなど各種のマスメディアを利用した集中的な啓発活動を行っています。

いちよう小学校でも、人権教育の重要性を知り、自分や周りの人の人権を尊重し、「差別をしない・させない・ゆるさない」という気持ちを育てるため、いろいろな取組をします。12月10日(火)には、車いすバスケットボールの選手に学校に来ていただき、お話をさせていただいたり、実際に車いすバスケットボールの動きを見せていただいたりします。その他にも、4年生は「視覚障害者体験」、5年生は「高齢者疑似体験」を予定しています。



人権週間

本年度の「第65回人権週間」では、啓発活動重点目標「みんなで築こう 人権の世紀」

～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～を始め、17の強調事項を掲げ、啓発活動を展開することになっています。皆さんもお近くの催しに参加して、「思いやりの心」や「かけがえのない命」について、もう1度考えてみませんか？